

新県政
スタート

みなさんの声を聞かせてください

一緒に県政の改革をすすめましょう！

日本共産党

8月の県知事選挙を受けて、いよいよ新県政がスタートしました。日本共産党県議団は、県民のみなさんの思いをしっかり受け止めて、良い面は大いに推進しながらも言うべきことはきちんとモノを言う立場で、前向きに、県政の改革を前進させるため全力でがんばります。



阿部知事に申し入れる日本共産党県議団（県庁）

雇用・経済対策など

共産党県議団が阿部知事に申し入れ

日本共産党県議団は9月16日、阿部守一知事にたいし9月議会に向けた申し入れをおこないました。

「この猛暑で体調を崩しても、保健室にクーラーさえないなんて!」、「日照りでリンゴがやられてしまって絶望的。なんとかならないか…」、「ゲリラ豪雨や台

風が心配。災害対策や河川整備をしっかりやってもらいたい」など、寄せられた切実な声を紹介しながら対策を要望。世論調査で6割の県民が再検証や中止を求めている浅川ダムは、一時工事を中止するよう求めました。

阿部知事からは、災害対策など生活密着型の公共事業に力を入れる問題で、前向きな姿勢が示されました。

9月県議会に関する申し入れ

- 1 浅川穴あきダムは、いったん工事を中止してください。
- 2 県立高校の全教室にエアコンの設置をおこなうよう検討し、少なくとも保健室には早急に設置してください。また、市町村立学校のエアコン設置に財政的な支援をしてください。
- 3 県の「災害見舞金」制度について、被災一世帯から支給に改め、市町村の条例に関わらず支給するよう、基準を見直してください。
- 4 「緊急雇用創出金事業」について、期間を延長し、今後は恒常的事業となるよう、国に働きかけてください。
- 5 農業共済制度の改善について、県としても必要な予算措置を講じてください。
- 6 台風シーズンやゲリラ豪雨等に備え、災害対策や河川整備などを中心にした生活密着型公共事業を早急に実施してください。



くらし、政治を語り合いましょう!

各地で県政報告会

7人の共産党県議団がせいぞろいして、県下各地でくらしや政治をかたりあう「県政報告会」。この間、佐久市、松本市、長野市、箕輪町、下諏訪町、上



上田市での県政報告会(9月16日)

田市、塩尻市で開催。「県政のことが大変わかりやすかった」、「こういう企画を大いにやってほしい」など、好評です。今後も各地で計画しています。

浅川ダム計画

住民団体が阿部知事に意見

阿部知事は、浅川ダムの建設中止を求める住民団体や県民から出されていた要望を受け、意見を聞く会を9月15日に開催しました。日本共産党も開催を求めてきました。

会場では、「予定地は学校からわずか1.5kmの場所。子どもの命を脅かす危険なダム建設よりも、何年も要望し続けている通学路の電灯をつけてほしい」など、20人が意見を述べました。



いっしょにお配りした

「県民なんでもアンケート」にご協力ください。

※添付した封筒に入れ、切手を貼らずにポストに投函するかファックスで送ってください。

みなさんの大きなご支援をいただくなかで、日本共産党県議団はこの間、2人から5人（99年）、6人（03年）、7人（07年）へと前進し、独自に議案を提出する権利を得て、代表質問もできるようになりました。また、6つの常任委員会のすべてに議席を得るなど、何倍にも大きくなった発言力を最大限に生かして県政、県議会を動かしてきました。

県民のみなさんと力を合わせて 県政と県議会を動かしています



政策提案

道理とねばり強いとりくみで 県民要望を実現してきました

雇用

党県議団が求めてきた若年者就業サポートセンター（長野、松本）の充実、緊急求職者サポートセンター（上田、伊那）が設置されました。さらに、失業者などを救済するワンストップ・サービス、民間の反貧困ネットと行政が一体になっての支援活動なども実現しました。党県議団主催のシンポジウムを契機に「反貧困ネットワーク信州」が結成されました。

医療・福祉

乳幼児医療費が所得制限なしで就学前（入院は小3）まで無料に。宅幼老所（400箇所）の開設支援と宿泊費への補助、自家用車使用を認めるなど生活保護基準の改善、特別養護老人ホーム等100箇所以上の整備など前進しています。産科医不足では、党県議団が独自の調査や研究をおこなって政策を提案。各方面から共感が寄せられて助産師の支援策が前進しています。

教育

30人規模学級が小学校全学年で実現、盲・ろう学校の統合を中止、特別支援学校教員が80人増、養護学校スクールバスの大型化・増車なども実現できました。

すぐに現場へ



中川村の遅霜被害の現場を調査



松本ろう学校を視察



長野県上田点字図書館を視察

バッゲンのチェック力で議会を改革

「政務調査費は1円からすべて領収書をつけて公開を」「公費での飲食はやめるべき」—日本共産党は自ら実践しながら県議会で提案をおこない、実現しました。旅費は実費支払いで、日当なし。また、公費による海外視察も凍結しています。

政務調査費から議員の自宅事務所の維持費や個人の携帯電話使用料の一部が支出されている問題など、まだまだ解決しなければならないことはありますが、全国オンブズマンからも長野県議会は透明度が全国一という評価も得ています。

共同

立場や考え方をこえた取り組みが前進



県建設業協会と懇談

この間、歯科医師会、弁護士会、建設業協会、善光寺、介護支援専門員協会、社会福祉協議会など、さまざまな業界や団体のみなさんと懇談。こうしたなかで、歯科保健衛生条例、司法修習生給費制度の存続を求める意見書の採択（全会一致）など、要望が実現しています。

みんなが希望の持てる県政へ、ますます元気にがんばります—日本共産党長野県議団



石坂ちほ
長野市



小林伸陽
上伊那郡



藤沢のり子
松本市



高村京子
上田市・小県郡



もうり栄子
岡谷市・下諏訪町



びぜん光正
塩尻市



和田あき子
長野市